【株主の皆様へ】

将来の成長を見据えた基盤づくり

株主の皆様をはじめとする関係者の皆様には日ごろのご支援とご協力に対しまして、厚く御礼申し上げます。

当中間期は、ファインケミカル事業における医薬関連製品の需要増加や、半導体関連新規開発品等の量産立ち上げが業績に寄与しました。また、難燃剤事業では販売単価の見直しや海外販売の増加などにより、両事業とも増収増益となりました。こうした状況を踏まえ、通期業績予想を見直し、売上高及び利益ともに過去最高を見込んでおります。

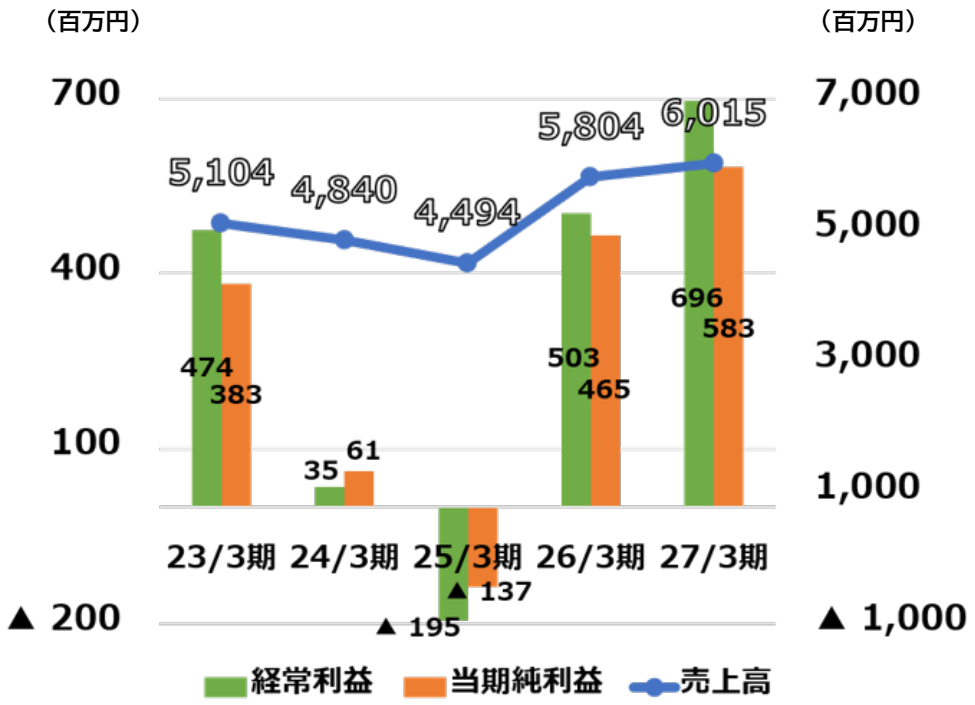
当社グループでは、既存事業の収益力を高めるとともに、将来の成長を支える新たな事業機会の創出を重要な課題と捉えております。ファインケミカル事業を中心に、新規案件の開拓や新規開発品の事業化を推進してまいります。また、半導体関連製品への投資や収益性の向上を図り、グループ全体の持続的な成長を目指してまいります。

これらの取組みを通じて中長期的な企業価値向上を図ってまいりますので、株主の皆様には引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

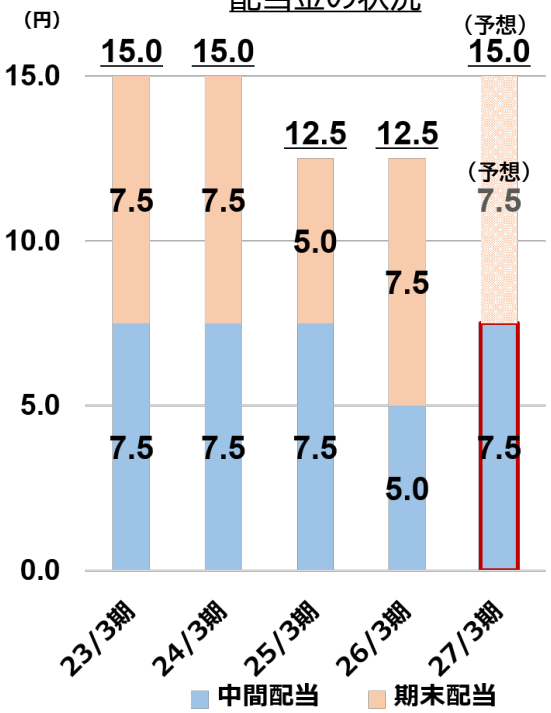
株式会社マナック・ケミカル・パートナーズ
代表取締役会長兼社長
杉之原　祥二

2027年3月期 第2四半期(中間期)の業績状況と配当金の状況

第2四半期(中間期)の業績推移(連結)



配当金の状況



直近のトピック

【マナック株式会社】金属管理技術関連設備

当社事業子会社のマナック株式会社では、金属不純物管理技術の向上およびヨウ素化合物を中心とした半導体関連製品の受託開発拡大を目的とし、福山工場（広島県福山市）にて微量金属分析装置を設置しました。当該装置の運用を通じ、次世代半導体向け製品を中心とした新製品開発を加速させてまいります。

現在、稼働開始に向けて操作の習熟を進めており、2027年3月期中に各設備の運用を順次開始する予定です。



【マナック株式会社】新事務棟の建設完成

2026年5月、福山工場に新事務所棟が完成しました。機能性と安全性を向上させ、将来の事業拡大に伴う人員増加にも対応できる環境を整備しました。働きやすい職場づくりを通じて、従業員の満足度向上や人材の定着を図るとともに、新たな人材の確保にもつなげ、持続的な事業成長を支える組織基盤の強化を目指します。





